



越前おおの

まちなか交流センター完成

昨年十月から整備してきた、旧有終西小学校児童玄関や給食調理室、大野市西体育館の改修工事が完了し四月より、「越前おおのまちなか交流センター」として生まれ変わりました。

会議やイベント、文化・スポーツでの交流など多目的に活用できます。

交流の拠点に

「越前おおのまちなか交流センター」は、旧有終西小学校跡地で整備を進めている「越前おおの結（むす）ステーション」内に整備されたものです。

多目的ホールと中・小の会議室などを併せ持つ多目的機能施設で、イベントや文化・スポーツの交流を通して中心市街地の活性化と産業の振興を図ることを目的に整備。六八平方メートルの小会議室や百四十四平方メートルの中会議室、トイレなどが新設されました。

体育館はステージイベントなどが行えるよう、老朽化していたステージを改修。またフロアシートを整備し、シートを敷くと履物を変えること

なく施設を利用することが可能になりました。多目的ホールとして、スポーツ活動のほか、屋外と屋内を使用した場合のイベント開催などにも利用できます。

センターの使用料

センターを使用するには、次頁表の使用料が必要です。

※冷暖房使用時や、入場料を徴収するイベントの場合、使用料が割り増しになります。

利用申込先 六月から変更

センター利用の申し込み先が六月から変わります。五月末までは、現行どおり教育委員会スポーツ課で受け付けを



小会議室



多目的ホール

行います。六月からは、大野商工会議所で利用の申し込みを受け付けます。
 ・五月末までに申請する場合
 教育委員会入部課
 (☎66・1111内線531)
 ・六月以降に申請する場合
 大野商工会議所
 (☎66・1230)

まちなか交流センター使用料

(単位：円)

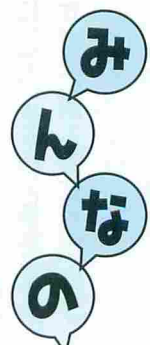
区分	昼 間				夜 間		全 日			
	8:30~12:00		12:00~17:00		17:00~21:30		8:30~21:30			
	平日	土日・祝日	平日	土日・祝日	平日	土日・祝日	平日	土日・祝日		
小 会 議 室	900	1,100	1,300	1,500	1,800	2,200	3,400	4,100		
中 会 議 室	1,200	1,500	1,700	2,100	2,400	2,900	4,500	5,500		
多目的ホール	イベント利用		4,700	6,100	6,600	8,500	9,200	12,000	17,400	22,600
	体育活動(半面)		400		600		800		1,500	
	体育活動(全面)		800		1,200		1,600		3,000	

【フィクション】
 蝶々囀々(小川糸) 舞い落ちる村(谷崎由依) ぼくたちは大人になる(佐川光晴) ねたあとに(長嶋有) 英雄の書(宮部みゆき)
【ノンフィクション】
 断る力(勝間和代) 子ども学序説(浜田寿美男) 国際宇宙ステーションとはなにか(若田光一) 原発と地震(新潟日報社) 落馬脳挫傷(石山衣織)

新着図書

【児童図書】

労働法はぼくらの味方(笹山尚人) オバマ(エドワーズ) 椿先生、出番です!(花形みつる) 金鉱町のルーシー(クシュマン) くまのプーさんえほん(全15冊)(ミルン) かのブルック(フォシエ)
【絵本】
 だってだってのおばあさん(佐野洋子) ドーナツたいこうしん(ポンド) だまし絵サーカス(エドワーズ) おそとがきえた! (角野栄子)



図書館



読書のススメ

『琵琶湖炎上』
 井ノ部康之著
 小学館刊

大野市出身の作家の最新作を紹介します。戦国時代の武将浅井長政を主人公にし、織田信長と対立していく経緯を、お市の方への愛情や朝倉氏との盟友関係をかためて描いています。

井ノ部氏の著書には朝倉義景を描いた『一乗谷炎上』があり、同じ時代を浅井氏側から見た“姉妹編”といえます。

月1回はテレビ番組を見ないで本を読もう



ぐるーぷ登場

シルバー人材センター
ひまわりクラブ



市民のページ

あなたも紙面に参加しませんか。希望する方は
情報広報課まで ☎0779・66・1111

【広告欄】

元気に働く仲間と生きがい作り



「ひまわりクラブ」は、明るい輪（和）が作れるようにと、平成十四年に「大野市シルバー人材センター」に登録する会員により結成され、趣味やスポーツを通じた生きがい作りを行っています。そのうちソフトバレーサークルには六十歳から七十九歳までの二十人が参加。毎週一回、汗を流しています。

サークルのモットーは「楽しく、和を大切に」ということもあり、練習には笑い声が絶えません。ボールを追う真剣な表情とは裏腹に、珍プレーが続出し、また笑い声が響きます。

ソフトバレーサークルにはバレーボールの経験者はいませんが、練習試合や大会に参加し、少しでも良い結果を残そうとがんばっているとのこと。

代表の乾祐子^{（前掲）}さんは「まずけがをしないよう心掛け、好

プレーを目指しがんばっています。チームが楽しい雰囲気であることが一番で、勝負へのこだわりは、あまりありませんね。ソフトバレーボールは、その名のとおりボールが軟らかいことから高齢でも親しみやすいと思います。これからも続け、スポーツを生きがいにしていきたいと思っています。」と話してくれました。



笑顔でプレーするひまわりクラブソフトバレーサークルの皆さん

広告スペース 3 枠

こんにちは



松本 高志さん (新庄・32歳)

松本さんは2月に新潟県内で開かれた第64回国民体育大会冬季大会スキー競技会で、バイアスロン・スプリント(4.5^{キロ})で21分18秒9のタイムで準優勝を果たしました。初出場での快挙です。もともと“距離”では、大学1年から13年間、国体に連続出場するほどの実力を持っています。スキーや射撃に対する思いを聞きました。

——おめでとうございます。準優勝の感想はとてうれしいです。1位との差は0.7秒でした。射撃で2回も不発があるなど多くのミスをしましたが、監督の指示どおりに落ち着けたことがよかったと思っています。

——練習は十分にできましたか

実は滑走から射撃への切り替えは近隣の県では練習ができないのです。この競技で一番気を取られることは、その切り替えですね。しっかりと射場へ入ってからしか担いでいる銃を肩から外すことができないなど切り替えには細かいルールがあります。その一連の流れが円滑にいかなければ、あっという間に数秒が無駄になってしまうのです。

クロスカントリーは毎週のように大会があり練習もしていますし、射撃は福井市内にある県営射撃場に2週に3回は行くよう心掛け

雪国の誇りを滑りと射撃に

国体バイアスロンで準優勝

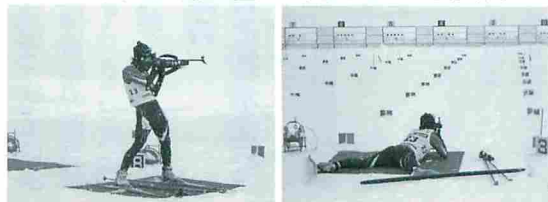
ています。夏は山々を登っています。大野の登山道はすべて走ったと思いますよ。

——バイアスロンはいつから始めたのですか
クロカンは中学1年のときから始めていますが、射撃は8年前にバイアスロンをするために始めました。ようやく昨年、バイアスロン専用の銃を持つ許可が全国的に下り、自衛隊員以外の選手も競技に出場できるようになりました。

心臓のドキドキする鼓動が銃を持つ手の指先に伝わり銃口が数^{ミリ}動きます。その動きを止めることはできないので動きに合わせて引き金を引きます。照準が1^{ミリ}ずれれば標的にはかすりもしないという緊張感が魅力ですね。

——今後の目標は

この競技では銃を取り扱うことから自衛隊員の選手が強豪です。一緒に技術を磨き、大会入賞によるポイントを積み重ね、国際大会に出場できるよう努力を続けます。将来的に自分の戦績を見て、一緒に競技をしてみたいという人が大野に出てくるといいですね。



【バイアスロン】

ギリシャ語で“2つ”を意味する「バイ」に、“競技”を意味する「アスロン」を合わせた造語で、クロスカントリーとライフル射撃を組み合わせた競技。「スプリント」では4.5^{キロ}を走るが、途中2回、50メートル先の大きさ45^{センチ}という標的に向かって5発撃つ。射撃は最初に伏せて、次に立ったままと体勢を変える。1発外すごとに別コース150^{メートル}1周が追加される。手を伸ばして持ったマッチ棒の先端と例えられるほど標的は小さく見え、息が切れていると上体が揺れることから射撃の難易度は高い。正確性と速さの駆け引きが魅力といわれている。

【広告欄】

広告スペース 3 枠



整備検討会が計画案を報告

亀山公園の環境整備を市長へ提言

基本理念

豊かな自然と歴史を感じ、
多くの人々が楽しめる憩いの場

7つの魅力
整備項目に

整備検討会の設置

本市のシンボルである越前大野城が山頂に見える亀山公園は、市民の憩いの場であると同時に市民の誇りにもなっています。ところが近年では、木々が高くまで生い茂り、市街地から天守が見えにくくなってきたことや公園内の施設が老朽化するなどさまざまな課題が指摘されています。そこで市は昨年八月、地域の住民や関係団体の代表者、学識経験者など委員十五人による亀山公園整備検討会を設

置し、亀山公園をより快適で安全に利用できるよう整備するため、その方向性について検討を始めました。

公園の整備は、大別すると「基本計画」「基本設計」「実施計画」と三つの段階があり、この検討会は初期的な「基本計画」段階に位置付けされました。十二月までに四回開催され、現地視察のほか、植生や土地利用の状況、法令による規制など基礎情報の確認が行われました。

亀山公園の 魅力と基本理念

検討会では、亀山公園に充実させたい魅力が七つにまとめられました。

- ▼市民の日常的な散策空間
- ▼公園内からの眺望
- ▼まちの象徴・越前大野城

要以上の剪定を行わない。

②園内眺望の確保

公園内から、山並みや大野盆地の広がり、旧城下町の町割りを見渡すことができるよう展望個所を設定し、主にスギ林の枝打ちなどを行う。

③散策空間の充実

観光客の多くが利用している南側入り口は分かりにくいことなどから、柳廼社側から百間坂に通じる入り口を整備する。グラウンドに面する塀の修景を行う。

これらの魅力を踏まえ、整備に当たったこの基本理念を「豊かな自然と歴史を感じ、多くの人が楽しめる憩いの場」に決めました。

七つの整備項目

この基本理念を踏まえ、七つの魅力が生かされるよう整備項目が設定されました。その概要は次のとおりです。

①天守への見通し改善

市街地から越前大野城の天守が見通せるよう改善する。天守がきれいに見ることができ、視点場を設けることで必

危険な個所の点検や修復を行い、看板やトイレ、休憩コーナーの整備を行う。

④花見の場の再生

サクラの名所を復活し、四季が楽しめるよう「花のみち」の整備や苗木の植栽を行う。

⑤緑の象徴の保全

枝打ちや間引くことにより樹木を健全に育てる。将来的にスギ林から広葉樹

林への移行を目指す。

⑥ 史跡空間の充実

遺構調査を踏まえ、遺構の由緒を示す看板や百間坂を整備する。

現存の天守は、復元された天守であるなど正確な情報提供を行う。

⑦ 自然との触れ合い

樹木などを紹介する看板の整備などを行い、自然資源の活用を図る。

基本計画の決定へ

二月十九日に整備検討会の安間勝也会長らは、岡田市長に取りまとめた検討内容を報告しました。市では、この報告を踏まえた上で、基本計画の内容を決定することとしています。

その基本計画に基づき、デザインや経済的な面から整備の概略を決める基本設計を行い、さらに実施設計へと進めていく予定です。

岡 都市計画課都市整備係
(☎ 66・11111 内線3555)

亀山公園整備基本方針の概略図



全域の方針

- 看板の整備
 - 案内用
 - 史跡紹介用
 - 自然紹介用
- 防護柵やベンチの改修
- 園路の改修

眺望箇所としてまちなかを見るために、眺望を遮る樹木の整理と眺望解説板整備

市ホームページ掲載 有料広告を募集します

少しでも自主財源を確保しようとするホームページに有料広告を掲載します。

市では、掲載を希望する広告を随時募集します。事業主の皆さん応募してください。

広告の金額

一枠一月一万円
全六枠。一事業所当たり一枠まで

広告の大きさ・色彩

縦五十ピクセル・横百六十ピクセルのバナー

掲載基準

掲載できる広告は、公共

性や品位を損なわないもの、市民に不利益を与えないもの

申込方法

掲載を希望する場合、申込書にバナー原稿の案を添えて、情報広報課へ提出してください。なお、申し込みが多数の場合、抽選します。

※詳しくは問い合わせるか市のホームページにて確認してください。

情報広報課広報広聴係

(☎ 66・11111 内線442)



この場所にバナーを張り付けます

生涯学習の成果を披露

2月22日、学びの里「めいりん」で生涯学習フォーラムが開催されました。フォーラムでは社会教育功労者の表彰、市民や行政からの発表がありました。市民からの発表の1つ「こもれび学社“竹田式体操”」では、腰やひざへの負担が少ない体操を会場の参加者とともに、懐かしい曲に乗って楽しく紹介していました。



介護認定審査員20人を委嘱

2月24日、大野・勝山地区広域行政事務組合では、本年度から2年間の介護認定審査会・障害者介護給付市町村審査会委員20人をビュークリーンおくえつで委嘱しました。今後、委員は介護度や障害程度区分について、公平公正で適正な審査判定を行います。



相手目掛け全力で

2月15日、エキサイト広場でスーパードッジボール大会が開かれました。27チームが参加。相手目掛けて力いっぱいボールを投げていました。



災害時に支援できるよう実技

日本赤十字社家庭看護法短期講習が2月27日に市役所で開かれました。参加した35人は、認知症などについて理解を深めた後、車いすでの移動や毛布などを使った救護について、災害が起こったときに老人などを支援できるよう熱心に受講していました。



話題のひろば



元・暴走族総長が体験交じえ講演

世代間交流による子育て支援事業「ええもんめっけ」講演会が3月7日、学びの里「めいりん」で開かれました。暴走族の総長や覚せい剤の現行犯逮捕の経験を持つ講師の工藤良さんは自らの行動を反省し、青少年健全育成に向けた活動を行ってきました。参加者約100人は少し緊張した面持ちで、その体験に基づく話しに聞き入っていました。



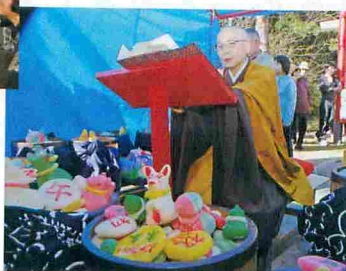
小山北部の農業基盤が竣工

3月8日、経営体育成基盤整備事業小山北部竣工式が深井で行われました。出席した岡田市長らは記念碑の除幕を行い、竣工を祝いました。この事業は平成14年度から鋤掛・飯降・深井・上荒井で、農地の大区画化や道路の拡幅、用水路の整備などを行ったものです。事業費は約14億7000万円。生産性の高い農業経営の確立を目指し整備されました。



青空に舞う“福”をキャッチ

3月8日、木本の岩崎稻荷神社前で「はつうま初午団子まき」が行われました。神事が行われた後、地元の人が足場に乗って団子をまきました。準備された約1万個の丸い団子やキツネの形をしたの団子が次々とまかれると、訪れた約300人は、食べると厄よけになり福が訪れるという伝説から、1つでも多くつかもうと手を精いっぱい伸ばし求めています。



ダイコンサラダ



- 材料 (1人分)**
- ・ダイコン 40g
 - ・キャベツ 15g
 - ・トウモロコシ 10g
 - ・ハム 8g
 - ・酢 3g
 - ・油 2.5g
 - ・塩 0.5g

子どもたちの健康を支えている給食献立から「ダイコンサラダ」を紹介します。

給食からもう一品

- 作ってみよう**
- ①ダイコンとキャベツを細切りにし、薄塩をして軽く絞る。
 - ②トウモロコシを湯がき、冷ましておく。
 - ③ハムを短冊切りにする。
 - ④①～③の材料に酢と塩、油を合わせあえる。

達人のワンポイントアドバイス

ダイコンを繊維に沿って切ると、シャキシャキした感じが出ます。油の代わりに“ごま油”を、ハムの代わりに“はんぺん”を使ってもおいしいですよ。
(学校調理師 古里ひふみさん)



市民のうごき

平成21年3月1日現在

世帯数	12,153世帯 (-29世帯)
人口	38,159人 (-46人)
〈男〉	18,198人 (-25人)
〈女〉	19,961人 (-21人)

- ◆2月中の内訳
- | | | | |
|----|-----|----|-----|
| 転入 | 34人 | 出生 | 27人 |
| 転出 | 74人 | 死亡 | 33人 |

発行 福井県大野市
編集情報広報課広報広聴係 ☎0779・66・1111

を得て、広報紙が発刊に至ると感謝の念にあふれています。編集に際し、難しさを感じるこの一つに、日本語の揺らぎがあります。同じ意味でもいくつかの表現があり、逆に一つの言葉から多くの内容がくみ取れるのです。適切な表現と分かりやすいの両立を心掛け、親しまれる「広報」を目指していきたいと思っております。(松森)



編集後記

広報を担当して一年。市政や催し事をお伝えしようと試行錯誤の連続です。多くの人に協力を



桜だよりの中、今年もピカピカの新小学一年生一七八人が誕生。新入学・新年度・新社会人など『新』の文字は

希望感と期待感を抱かせる▼本号に未来を見据えた大野市教育理念「明倫の心を重んじて育つ 大野人」が掲載され新しい意気込みを感じる。昨今さまざまな教育問題が注目されているだけに射た指針である▼現在、子供たちがおかれている地域社会・家庭・学校の状況は大きく変容し、それぞれの価値観も多様化している▼大人たちは何かに依存し、責任転嫁し、規範意識や道徳性も薄くなってきた。何をしてもしなくても知らん顔、気付かない風の見えぬふりの社会が当たり前。ごね得、ルール違反など。論語に「心の欲するところに従って矩をこえず」とあるが、自己管理・自己規制ができてこそ社会の一員といえる▼町おこし心おこしという本の一節に「人間には、二つの生きがいがありその一つは、今、自分はこれでいいのかという反省に基づくと向上心であり、もう一つは、今、自分は自分以外の人に何ができるかを考える奉仕の心」とあった▼越前おの結ステーションも着工された。お互い助け合い支え合つ結いの心を持つ大野人になることが、大人の責務である。新小学一年生に笑われたいために。(安田)